



くすねたん

泉月号

Vol.23

2006年5月

毎月10日発行

発行人 藤本高司

発行所 フジモト株式会社

飲食店向け情報満載かわら版
毎月発行

飲食店舗さま向けにかわら版を毎月発行します



薫風の候

沖縄ハーリーが終わると日本ではいち早く沖縄は梅雨入りします。東京ではGWの好天候から走り梅雨の日々が続いています。GWの最中には、原油の高騰により15年ぶりの高値になりました。石油製品への高値影響が出てきているようです。環境問題を含めて石油依存文明を脱却していかなくてはなりません。それは、自然力と生命体の知恵、商品を見極めるものさしが必要だと思っています。消費動向が明らかに変わってきているなか、贅沢感と安心安全な物、その商品の価値感。飲食は、メニューもサービスもオリジナルが最も発揮しやすい業種です。『柔よく剛を征す』個店のお店も頑張っています。皆で日本の飲食産業を盛り上げましょう！！

満員御礼

スローフードフェアにご来場頂きまして有難うございました。

4月29日より2日間(パシフィコ横浜)で有料入場者数5000名強のご来場を頂きました。大豆や日本茶に関するセミナー、国内外の食材・お酒の出展、また、食育体験教室にはお子様を始め多数のご参加を頂き満員にてご希望にお応え出来ずこの場をお借りしてお詫び申し上げます。スローフード運動には3つの理念があります。消え行く恐れのある伝統的な食材や料理、質の良い食品、お酒を守る 質の良い素材を提供する小生産者を守る 子供達を含め、消費者に味の教育(食育)をすすめる。これからもスローフード運動にご理解ご支援を宜しくお願い致します。

食器なんでも豆知識

食器研究家 ケイ・大勝

六豆 お料理たちのごあいさつ ~ 豆皿のある食卓 ~

若葉の緑が目眩しい季節となりました。さまざまな色が生まれるこの季節に合わせて、「豆皿」のご紹介です。

「豆皿」とは小さなサイズ(直径8cm程度)の小皿のことで、お醤油や漬物、佃煮などを入れる際に使われている、皆様もよくご存知の食器です。昔は塩を盛り、料理をそれぞれの好みに味付けするなどの役目を果たしていました。

現在でも、昔の用途のなごりから『手塩皿』または『おてしよ』と呼ばれ、食卓の名わき役として活躍しています。

色や形、絵付けのデザインは非常に多種多様で、小さく手ごろな「豆皿」は、骨董の世界でもコレクションアイテムとして人気です。これは高価である九谷焼、古伊万里、柿右衛門等が、「豆皿」ならば手に入れやすいことも、人気に拍車をかけているのでしょう。

普段何気なく利用されていますが、色や形が豊富な特徴を生かして、テーブルを彩る卓上花と見立てるのはいかがでしょうか。また、形が小さい「豆皿」は、旬の食材を盛ってメイン料理と共にお出しするなどの、さりげない演出をするのにも最適です。どちらも決してでしゃばらない「豆皿」にぴったりの役目ですね。

メインの脇を飾る豆皿に盛られたお料理は、あたかも野の花のようです。あちらにもこちらにも顔を出し、お料理を引き立たせテーブルをにぎやかにしてくれるでしょう。

豆皿の座布団に座すお料理たちが、旬のごあいさつです。



フレッシュNEWS

デザイン・フェスタ開催迫る！！



オリジナルであれば誰もが参加できるアジア最大級アートフェスティバルです。1994年より始まり、毎年2回開催し今回で12年目を迎えます。前回(21回)は、各国31カ国から集まった6000人のアーティストと51,000人の来場者と共に新たな発見、刺激に満ち溢れ最高の2日間となりました。このデザインフェスタのレストランエリアは“食”も自由な表現の場として様々なジャンルの食が集まり出店者は会場に集う多くの人々と交流を広げています。赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層の人々へ自店の新メニューの紹介、そして評価をいただけます。新業態へのチャレンジ、食の新しい形の表現などを体験できるデザイン・フェスタのレストランエリアへ参加をしてみてくださいは如何ですか??!!

開催日時 2006年5月20日(土)~21日(日)11時~19時まで
開催場所 東京ビックサイト 西1~4ホール及び屋外&アトリウム
出展のお問合せ

デザイン・フェスタ・オフィス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-20-18-302

TEL 03-3479-1433 FAX 03-3479-1498

E-mail info@designfesta.com

http://www.designfesta.com



カラーのお話

すぐに役立つ 色彩基礎知識
~ 第11回 味と香りと色彩 ~

カラーコーディネーター 岩崎 浩一



“波の滴”と賞される
美しさの『きびなご』、
透き通った肌に青紫
の帯が入りとても旨い

初夏の訪れ 今月のテーマカラーは「青紫」 英名:バイオレット

今の季節では藤、くろたね草(ニゲラ)、ラベンダーなどなど。またこれからは紫陽花も咲き始めます。元来、「紫系統の色」は多くの女性が癒しを感じたり、知的な、精神的なものを感じる色とも言われます。また西洋、東洋(和洋中)を問わず紫は古くから「高貴な色」として崇められてきました。少し強すぎる紫に比べ青紫は清楚な、控えめな美しさを感じさせます。

残念ながら青紫系の食材はあまり多くは有りませんが、その分、食器類やテーブルコーディネートにおける配色で季節感を演出してみましょう。特にこれからの梅雨時や初夏にかけての「涼やか」な演出には必須カラーです。この色を1色加えただけで雰囲気が大きく変わります

- 日本の伝統色では菖蒲色、藤色、桔梗色、鳩羽色、江戸紫、など今日も沢山使われています。
- フランスの伝統色ではヴァレ、ジャンシャージュなど多くの色が有ります。



Fujimoto

発行所 フジモト株式会社

http://www.fujimoto.co.jp

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-7-7SKTビル2F TEL03-5378-6830 FAX03-5378-6823